

都市再生整備計画 事後評価シート
宇多津地区

令和3年2月

香川県宇多津町

様式2-1 評価結果のまとめ

| 都道府県名 | 香川県 | | 市町村名 | 宇多津町 | | 地区名 | 宇多津地区 | | | 面積 | 51ha | | |
|--------------------------------------|--|----------------------|---------------|---|---|----------|-------|-------|--|--|---|---|---|
| 交付期間 | 平成27年度～平成30年度 | | 事後評価実施時期 | 令和2年度 | | 交付対象事業費 | 323.3 | 国費率 | 0.40 | | | | |
| 1)事業の実施状況 | 当初計画に位置づけ、実施した事業 | | 基幹事業 | 高質空間形成施設:網ノ浦鍋谷線、田町大門線、山下中村線(若宮橋西)、栄町横町線、かじや町浦町線、幸町倉ノ前線、網ノ浦新町線、浜町栄町線 | | | | | | | | | |
| | | | 提案事業 | まちづくり活動支援事業:住民主体のまちづくり支援事業 | | | | | | | | | |
| | 当初計画から削除した事業 | | 基幹事業 | 事業名 | | 削除/追加の理由 | | | 削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 | | | | |
| | | | 提案事業 | なし | | | | | | | | | |
| | 新たに追加した事業 | | 基幹事業 | なし | | | | | | | | | |
| | | | 提案事業 | ない | | | | | | | | | |
| 交付期間の変更 | | 当初 | 平成27年度～平成31年度 | 交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響 | 事業内容は大きく変わらないため、指標等への影響はない | | | | | | | | |
| | | 変更 | 平成27年度～平成30年度 | | | | | | | | | | |
| 2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | 指標1 | 歩行者・自転車通行量 | 人/2日 | 606 | H26 | 680 | H31 | - | 487 | × | あり なし ● | 道路景観整備により、歩きやすい歩道空間は確保されたが、歩いて回遊したくなる観光資源や地域の魅力が必要である。 | - |
| | 指標2 | イベントの集客数 | 人/回 | 18,606 | H26 | 19,300 | H31 | - | 19,045 | △ | あり なし ● | 古街を紹介するホームページ(うたづさんぼみち)において、「うたづの町家とお雛さん」の開催情報を発信するとともに、近接する施設で開催されるイベントの情報も発信することにより、来訪者の増加につながった。天候による集客減の影響が考えられる。 | - |
| 指標3 | 古街のまちなみに対する満足度 | % | 62.7 | H22 | 75.0 | H31 | - | 65.1 | △ | あり なし ● | 道路景観整備、交流施設整備等では、まちなみ全体の満足度の向上につながらなかった。しかしながら「やや不満」と感じる人が減少したことは評価できる。 | - | |
| 3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況 | 指標 | | 単位 | 従前値 | 目標値 | 数値 | | 目標達成度 | 1年以内の達成見込み | 効果発現要因(総合所見) | フォローアップ予定時期 | | |
| | | | | 基準年度 | 目標年度 | モニタリング | 評価値 | | | | | | |
| | その他の数値指標1 | 古街の家の年間利用者数 | 人 | 946 | H26 | / | 1,226 | / | / | 古街を紹介するホームページ(うたづさんぼみち)において、古街の家の紹介をしていることから利用者増加につながった。 | - | | |
| | その他の数値指標2 | | | | | | | | | | | | |
| その他の数値指標3 | | | | | | | | | | | | | |
| 4)定性的な効果発現状況 | <ul style="list-style-type: none"> ・1期、2期事業を踏襲する形での道の高質化を実現し、町の景観形成重点区域における街並み景観の形成を実現した。 ・3期に渡る整備を実施し、情報発信をしたことにより、町民の「古街」に対する認知度も上昇し、町を代表する街並みとなった。 ・新規に街並みをPRする情報サイトを立ち上げることにより、まちの魅力を発信し、認知度向上、観光客の誘致に寄与している。 | | | | | | | | | | | | |
| 5)実施過程の評価 | 実施内容 | | | | 実施状況 | | | | 今後の対応方針等 | | | | |
| | モニタリング | ・地元との調整を踏まえ事業の見直しを実施 | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○ | | | | 引き続き暮らしやすい街並み整備を実施していくとともに、整備した施設の維持保全を図る。 | | | | |
| | 住民参加プロセス | ・うたづの町家とおひなさんの開催 | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○ | | | | 継続して事業を実施し、街並みを魅せる。 | | | | |
| | 持続的なまちづくり体制の構築 | ・宇多津ふるさとファンミーティングの実施 | | | 都市再生整備計画に記載し、実施できた ● 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した ● 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった ○ | | | | 事業を継続し、魅力発信・まちづくりの担い手育成を図る。 | | | | |

様式2-2 地区の概要

宇多津地区(香川県宇多津町) 都市再生整備計画事業の成果概要

| まちづくりの目標 | 目標を定量化する指標 | | 従前値 | | 目標値 | | 評価値 | |
|----------|---|------------|---------|-----|--------|-----|--------|-----|
| | 大目標:コンパクトで魅力的・風格ある市街地形成を図る。 目標① 歴史・文化的資産や拠点施設をネットワークし、交流や賑わいの再生、次世代への継承、集客向上を目指す。 目標② 誰もが暮らしやすく、人にやさしい環境に配慮した安全・安心・快適なまちを目指す。 | 歩行者・自転車通行量 | 単位:人/2日 | 606 | H26 | 680 | H31 | 487 |
| | イベントの集客数 | 単位:人/回 | 18,606 | H26 | 19,300 | H31 | 19,045 | H31 |
| | 古街のまちなみに対する満足度 | 単位:% | 62.7 | H22 | 75.0 | H31 | 65.1 | R1 |



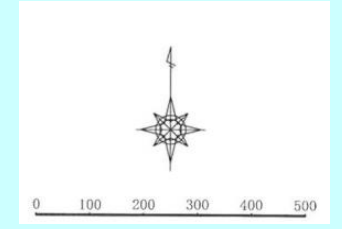
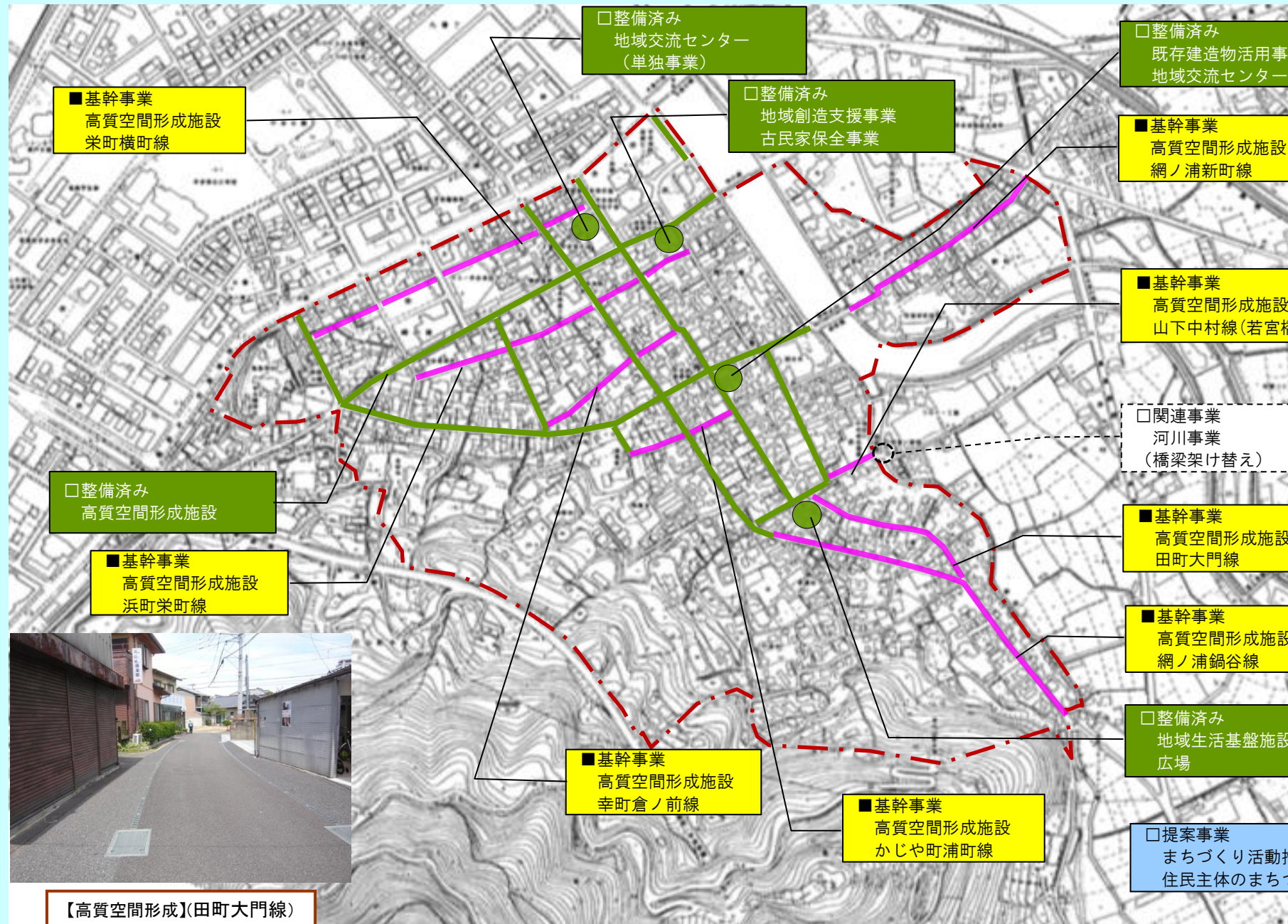
【高質空間形成】(浜町栄町線)



【高質空間形成】(幸町倉ノ前線)



【高質空間形成】(かじや町浦町線)



【関連事業】(橋梁架け替え)

| 凡例 | |
|---|------|
| | 基幹事業 |
| | 提案事業 |
| | 関連事業 |
| | 整備済み |

まちの課題の変化

- ・地域内における主たる生活道路の整備を実施したことにより、快適で歩きやすい歩行空間が形成された。
- ・町内の魅力や観光資源の情報を掲載したホームページ(うたづさんぼみち)を開設した。
- ・町家を改造した宿泊施設(臨水、背山)を整備し、宿泊施設の利用者は増加している。また、倉庫を改造した交流施設「こめっせ宇多津」が会議、集会等に利用されている。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・道路だけではなく、建物も一体となったまちなみ空間の保全、向上に向けて、空き家の利活用を促進する。
- ・公共交通サービスの充実を図るために、町内全域における新たな移動手段として、コミュニティバスの運行を実施する。